

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年 3月 11日公開

皆さん、シャローム！アミール・ツアルファティです。2018年3月11日土曜日、エルサレム時間の午後8時です。（日本時間2018年3月12日午前3時）

今からフェイスブックとインスタグラムライブで情勢アップデートを行ないます。その前に、いつものように主の御前に出て、祝福を祈りましょう。

お父様、私たちはあなたの子どもとして御前に出られることに感謝します。あなたのご計画を教えてください。お父様、あなたは、御言葉の中でそのご計画を、あなたの子どもたちに隠さず明らかにされ、預言者イザヤを通して言われました。

9 わたしが神である。ほかにはいない。わたしのような神はいない。

10 わたしは、終わりの事を初めから告げ、まだなされていない事を昔から告げ、

『わたしのはかりごととは成就し、わたしの望む事をすべて成し遂げる』という。

（イザヤ46:9～10）

あなたは、全てを統治される神であられ、あなたは私たちを、この地球の土から造られました。あなたは、ほとんど無から私たちを造られましたのに、私たちを、あなたのご計画を知り、見て、理解するのに値するものと見てくださいます。お父様、感謝します。あなたは、あなたの御言葉を通して私たちに語られ、私たちは周りを見渡し、あなたの御言葉が真実であることを確信します。どうか、私たちを真実で清めてください。あなたの御言葉は真実です。あなたに感謝し、あなたを祝福し、この時間をあなたに捧げます。

主イエスの御名によってお祈りします。

アーメン。

アーメン！皆さん、シャローム！アミール・ツアルファティです。今回はエルサレムよりお届けします。残念ながら、外は真っ暗で騒がしいので、屋外ではなく、ホテルの室内で行うことになりました。現在、南カリフォルニアからの団体をご案内していますが、イスラエルは青々としていて、花が咲き乱れ、とても綺麗です。何より、旅行客でいっぱいです。中東の他の場所は混とんとしているのですが、イスラエルは安定していて、平穏で繁栄していて、平和です。それだけでも、神の約束の証です。それを満喫しています。また、今日は、とても興味深いアップデートになります。今日は初めて、インスタグラムからもライブアップデートをしています。インスタグラムは続けて一語“beholdisrael”です。どうか皆さん、フォローしてください。たくさんの素晴らしいことがご覧いただけますから。

さて、アップデートですが、今日はいくつかの事をお話します。一つ目は、皆さんのほとんどがもう既に聞いておられる事です。つまり、5月に行われる、北朝鮮とアメリカのサミットですが、

私が長年言い続けていることは、皆さんもご存知ですね。私は、北朝鮮が問題だとは思っていません。北朝鮮が求めているのは、誰も彼らの政権を倒さない、と言う保証だけです。彼らは、異教徒を破壊しようとする、霊的な動機によって動いている政権ではありません。彼らの目的は、それではありません。全ては生き残りのため、彼らが核兵器を保有するのは生き残るため、それだけです。もし、誰も彼らの指導者を取り除かず、彼らが権力を握り続けると保証されれば、彼はおそらく喜んで会談に応じるでしょう。彼の口から、何かが飛び出すと思いますか？私が思うのは、強力な会談の相手、彼が何かをするかも知れません。クリントンが、マデレーン・オルブライトを送り込んだ時、クリントンは非常に優しく、マデレーン・オルブライトは強大大統領を代表しませんでした。ですから、当然あそこで彼らが合意したことには、何の価値もありません。そして、オバマの8年間は、北朝鮮の攻撃を止めたり、何かをする者が誰もいないことを証明しました。だから彼らは、それを利用したのです。しかし初めて、金正恩よりも狂った人間が登場したのです。金正恩に、真剣に受け取るべきだ、と理解させるには、トランプのような人物が出れば十分です。ですから、彼がやっと会談に応じたとしても、私は全く驚いていません。彼は現金、お金が必要です。彼には、経済が必要なのです。あちらには、何もありませんから。誰も、彼に触れないという事さえ約束されれば、彼が核兵器を追い求めることはありません。はっきり言って、それを続けても、彼の利益にならないからです。ただ、皆さんに言っておきたいのは、北朝鮮と違って、イランは全く別である理由はいくらでもあります。彼らの中では、話し合いにもなりませんし、話し合う者は誰もいません。なぜなら、彼らは、全く訳の分からない、悪霊の霊的なイデオロギーによって突き動かされていますし、その宗教の一員でない者は、滅ぼされなければならない、と本気で信じているからです。これは全く違う点です。面白いのは、北朝鮮とは誰も合意しないのに対して、イランは、世界にとってはずっと危険であるにもかかわらず、世は集まって、とんでもない協議に調印した、ということです。トランプ大統領には、イランの対処を決定するまで、約45日の時間があります。選択肢は二つ。

一つは、何らかの形で、協議の内容を変更、修正するか、もしくはそこから撤退するか。私は、適切な圧力によって、協議が変更されるべきだと思います。しかしイランが、一切の変更を望まないなら、アメリカは撤退するでしょう。そうするとイランは破産します。誰もイランとアメリカと、同時に取引が出来なくなるからです。アメリカは、全世界に言うでしょう。

「イランと仕事がしたいなら、我々とは仕事が出来ない。」

当然、アメリカの市場はイランの市場よりもはるかに大きいですから、イランは非常に苦しむこととなります。そしてそのためにイランは、更に過激な行動へと出るでしょう。

いずれ、どうなるか分かるでしょうが、そうこうしている間にも、皆さん、私が知っている中で、ドナルド・トランプは、イランをこのままで放置しないということを示唆するものの一つは、彼の、ワシントンで行われた、ベニヤミン・ネタニヤフとの会談の中で、彼らが話し合ったことです。その中の一つは、合同攻撃の選択肢です。よく聞いてください。イスラエルとアメリカによる、シリア国内、それからイラク内にある、イランの基地への合同攻撃です。これは現実からか

け離れているように聞こえるかも知れませんが、言っておきますが、これは昨日、クウェートのメディア「アル・ジャダイラ」が報じていたことで、彼らはアメリカからの情報を引用していたのです。つまり、イスラエルとアメリカが協調攻撃、今の時点で、ロシアには、イランを止めることは出来ない、という事実が基となっています。ロシア自身が、イランが今の状態から更に進めて確立することに関心はありません。

ということで、皆さん、——ところで、それは横に置いておいて…。

私の情報源から、私が知っているのは、イスラエルの精鋭司令部隊が、北部のシリア国境での有事に向けて、訓練命令が出ていて、軍隊が既にあの地域に送られています。それから、この計画は、ホワイトハウスで話し合われただけでなく、CIAのトップと、更に国防長官のマティスもこれに関わっていますし、それからペンタゴン内にあった情報も、それを確証しています。そうになると、今後はイスラエルで現在起こっている事に関わってくるわけで、今日こうして話している間にも、この数日の間に、アメリカとイスラエルの合同演習が、イスラエルで行われています。これは、「Juniper Cobra 2018」と呼ばれ、2年ごとに我々は、合同演習を行なっていますが、今年はこれまでのどの年とも違って、最も包括的な形で、イスラエルに対する、あらゆる方面からの膨大なロケット攻撃を想定しています。イラン、シリア、レバノン、そしてガザからです。アメリカは、イスラエルがこうしたことに対処するのを援助するため、ヨーロッパと中東の、彼らの部隊を移動させるのに2日はかかる、と予測しています。我々は、最悪の最悪の場合、つまり化学生物兵器ですが、それに対するアメリカの反応を実験、アメリカとイスラエルの医療チームが合同で訓練しています。この訓練は、イスラエル軍と、アメリカの軍隊のヨーロッパ部隊による合同訓練です。

ということで、一方では、シリアとイラク両方の国内にあるイランの基地に対して大きな攻撃が計画されていると言い、また一方では、イスラエルとアメリカが既に協力して、イスラエルに対する膨大なロケット攻撃への報復に備えていると言います。かなり興味深いですよ。イスラエルには現在、何千人というアメリカの兵士たちがいて、ヨーロッパとアメリカに駐留している兵士が、あちらの管理センターで、衛星画像や、武器システムなどに関連するものの管理しているのとは別に、イスラエルの兵士たちとともに国中で奇襲訓練を行なっているのです。

武器システムと言えば、数日前、今月初め、世界はプーチンの演説に衝撃を受けました。覚えていらっしゃいますか？プーチンは数日後に選挙を控えていて、ロシア人たちに好印象を与えなければならぬのです。しかし、彼は、演説の中で非常に意味深なことを述べました。

「我々を試すな。核能力においては、我々は一世代先を行っているのだ。我々はただ核を搭載できる ICBM を所有しているのではない。」

ICBM とは、核弾頭を搭載できる大陸間弾道ミサイルです。

「それだけでなく、我々の ICBM は超音速だ。」

つまり、これは超高速で、どの国にも迎撃できない事を言っています。皆さん、普通、ICBMは超音速ではありません。これは、驚くべき事です。事実、画像をお見せできるかやってみましょう。昨日、彼らは軍事訓練実験を行い、その画像を今日公表しており、その中で Mig-31 を公開しています。これは F-15 のロシア版、デュアルエンジン（二重）エンジンの戦闘機で、ロケット ICBM を搭載し、空中で投下することが出来るのです。要点は、現在ロシアが世界に向けて「今や我々は、ただ所有しているだけではない！これほどの能力には、誰も近づくことが出来ないのだ！」

と言っているのです。Mig-31 の画像…ありました。



これが離陸中の Mig-31、離陸した後、ICBM を投下しています。



ICBM を投下し、そうすると、ICBM が力を得ています。念のために言っておきますと、ロシアは通常はこういったものは発表しません。しかしロシアは全世界に向かって、基本的には次のように言っているのです。

「我々は、何でもやりたい放題出来るのだ。誰も我々を止めることは出来ない！」

皆さん、ロシアが彼らの斬新な武器の全てを実験できる場所とは、一体どこですか？過去 8 年間、オバマが非常に弱くて、ロシアは何でもやりたい放題してきたのです。実際、シリア内で彼らは、非常に多くの斬新な武器を実験したのです。町や村、都市で…。彼らは町を破壊し、村を破壊し、大都市を破壊しています。けれども、世界は沈黙を守り、誰も何も言いません。シリアは、多くの者にとって、何でもやりたい放題出来る遊び場なのです。非常に心が痛むのは、PG カルト、ポリティカルコレクト・カルトは、イスラエルがテロから自己防衛すると、真っ向から非難しますが、あちらでのロシアの活動については、一切何も言いません。

一つ、妊娠していたシリアの若い女性についてお話しますと、彼女はシリア国内の医者から、次

のように告げられました。

「あなたの状態は、複雑すぎて、あなたが死ぬか、赤ちゃんが死ぬか、どちらかを選ばなければならない。」

赤ちゃんを産んで死ぬか、中絶して赤ちゃんを殺すか？彼女が選んだのは、そんな決断ではありませんでした。彼女は国境を越え、イスラエル兵の手に委ねました。彼らは、女性を私たちの病院に連れて来ました。そしてどうなったのでしょうか？赤ちゃんは生まれ、女性は生きています。そして我々は、女性を赤ちゃんと一緒に家に送り返しました。我々の国境近くの、秘密の場所にある家です。つまり、我々は、シリアの人たちを助けたい、彼らに命を与えたいのです。あちらでは、彼らを滅ぼし、殺し、惨殺していますが、——東グータは、ダマスカス郊外の田舎ですが、この二週間半の間に、既に1,100人が死亡しています。そのうち、少なくとも200人が子どもです。わたしが言っている事が、お分かりですか？現在、大虐殺が起こっているのです。しかし、世界は沈黙を守っています。もしイスラエルが今、パレスチナ人を一人撃ったら、国連安保理は招集してイスラエルを非難しますよ。だからネタニヤフは国連で言ったのです。「国連は、イスラエルのエルサレムに関する発言は一切受け入れない、それは、国連が真実を重視していないからです。真実は、エルサレムが我々の首都であるということです。」

ということで、皆さんにお伝えしておきます。シリアは現在、ロシアにとって最大の武器実験場です。ロシアは、現在、もっと大きな事に備えて、自分の剣を磨いているのです。

皆さん、ヨーロッパ人たちは現在、パニックに陥っています。突然、スウェーデンが——ドナルド・トランプを憎悪している、スウェーデンの首相（書記注：ステファン・ロベーン。2014年10月3日より在任。）が、ドナルド・トランプに会いに行きます。スウェーデン政府は、現在、兵役義務を復活させようとしているのです。たった今です。彼らは、自分たちで自己防衛しなければならない、と言っています。スウェーデンは中立国家で、NATOの一員ではありませんから、簡単に生きたままでロシアの餌食になり得る、と分かっているのです。ロシアは、ジョージアやクリミアで好き放題したように、スウェーデンを同様にすることが出来るのです。NATOの一員ではないので、何でもやりたい放題に出来るのです。それから、NATOで二番目に大きな軍隊、アメリカの次に大きいのはトルコです。彼らはもはや、NATOの一員であることには興味もありません。実際、彼らは現在、ロシアの腕の中ですよ。このように、ヨーロッパは目が覚めて、ロシアがロシアのやりたいことを行なっているのだ、ということに気が付いたのです。それに加えて、ロシアのスパイがイギリスで毒殺されました。彼の名はセルゲイ・スクリパル（Sergei Skripal）、66歳。彼と、彼の娘ユリア（Yulia）33歳は、イギリス西部ソールズベリーのイタリアンレストランから出て来ると、二人とも公共ベンチの上で倒れました。彼らは口から泡を吹き、目は大きく白目をむいて硬直しました。皆直ちに、これは唯一、国が使用できる、ある化学物質の毒だと気づきました。直ちに当局は墓地に行き、彼の妻、息子の遺体を持って来ました。彼らも同様にして殺されたのかを調べるためです。妻も謎の病で死亡しており、先に死亡した息子も同様です。ちなみに息子は43歳、サンクトペテルブルグで死亡しています。これで思い出すの

は、アレクサンダー・リトヴィネンコ (Alexandar Litvinenko) で、彼は2006年にロシアによって殺害されていますが、イギリスは、誰も何も言わないように、それを隠蔽しました。

このように、ヨーロッパは、ロシアがシリア内で行なっている全ての極悪行為について沈黙していますが、今や全てが彼らの上に降りかかっているのです。ご覧の通り、プーチンはヨーロッパ内でも、自分の好き放題振る舞うことに何の抵抗もありません。プーチンは、二つの事に脅威を感じており、それは欧州連合と NATO です。だから彼は、彼らを倒すために手段を選びません。そして、彼が行なっていることの一つは、皆さんには奇妙に聞こえるでしょうが、彼は真実を告げているのです。そう言うと、皆さんは、

「ちょっと待って、何のことだ？」

「真実を告げているとは、どういうことだ？」

とお思いでしょう。それはつまり、ヨーロッパのメディアは一切報道していない、イスラムの移民に関する問題です。数日前に、私もお伝えしました。ドイツの一部では、若い女性が外を歩くことも出来ないのです。襲われ、攻撃され、レイプ、集団レイプなどをされるからです。これは、ムスリム移民を受け入れた国々全部の災いです。イタリアとオーストリアの選挙結果、両方ともに反映されたのは、彼らはもはや古い政党を誰も信頼しておらず、人々はもはや、彼らに感謝もしていないのです。だから人々は、新しい政党に投票したのです。基本的には、人々は移民問題と戦う政党に投票しました。ヨーロッパ中でそれは見られ、ヨーロッパの危機によって、ヨーロッパ人が救世主を求めています。彼らはメシアを求め、この状況から彼らを救い出す誰かを求めているのです。私の最新の動画をご覧になって、ご自分の目で確かめてみてください。投稿したばかりの動画「Europe: Closer to the Antichrist」(ヨーロッパ: 反キリストの興りに更に近づく) で、私がお話していることを是非ご確認ください。(2018年3月12日現在、日本語版はまだありません。)

ということで、プーチンの演説で、ロシアが世界を驚愕させたことについてお話ししました。ところで、プーチンはつい先日、こんなことを言いました。

「私はアメリカの選挙に介入したことはない。たぶん、ユダヤ人がしたんだろう。」

想像できますか？物凄い反ユダヤ的発言が、大国の指導者の口から出たのです。

「たぶん、ユダヤ人がしたんだろう。」

興味深いと思いませんか？これが、彼のユダヤ人に対する見方ですよ。彼らは、自分たちのしたことに関して、ロシアを非難する人間かも知れない、というのです。ネタニヤフとトランプの親密さが増し、プーチンはこと、イスラエルに関して、非常に不安定な立場に置かれているのが、お分かりいただけでしょうか？

もう一つ、皆さんにお伝えしたいのは、現在起こっているある状況で、高級官僚が認めた事です。彼は、シリア軍の高官ですが、その彼が認めたのは、

「バッシュール・アサドが、西側諸国から化学兵器を隠すために、ヒズボラに化学兵器を与えた」ということです。皆さん、ヒズボラは化学兵器を持っています。通常の長距離ミサイルだけでなく、彼らは今や、その能力も持っているのです。

次に、イスラエルとアメリカが計画しているのは、シリアと、イラク内にあるイラン軍基地への攻撃ではありません。イランが恐らくヒズボラに、ロケットを撃つようにと告げるであろうことは、我々にも分かっていますから、我々は既に、ヒズボラに対する先制攻撃の備えは出来ています。ところで、ヒズボラは、その戦士全員に地下に潜るようにと告げました。現在、彼らは大きな事に備えているのです。恐らく彼らも知っているのでしょう。

サウジの皇太子が、イギリスの女王と、イギリス首相テリーザ・メイを訪問しました。そして両方が共同声明を発表しました。

「ヒズボラを武装解除しなければならない。」

皆さん、サウジとイギリスは、声明を発表したのです。

「ヒズボラを武装解除しなければならない。」

お分かりですか？今、ヒズボラは、崖っぷちに追いやられているのです。彼らもまた、何か馬鹿なことを企んでいるかも知れません。同時に、サウジ皇太子は、同じ訪問でエジプトに立ち寄りました。信じがたいかもしれませんが、彼はエジプトで、ベニヤミン・ネタニヤフの代理であるイスラエル諜報のトップと会いました。現在我々は、イスラエルとサウジの関係を、公式なものに引き上げるための概要の草案作りを共に行なっています。サウジは、イスラエルが問題ではなく、解決策の一つである、と理解しています。彼らの問題は、イランです。サウジは既に、イスラエルの飛行機がインドへ行く途中、彼らの領空を飛行するのを認めています。EI-AI や、インド航空といった民間の飛行機です。しかしそれだけでなく、サウジは、イスラエルの戦闘機がイランの核施設を破壊する時など、必要な時にはいつでも、サウジの領空を使うことを許可しています。

ということで、Juniper Cobra 訓練についても、もうお話ししましたね。サウジとイスラエルの関係についてもお話ししました。シリア国内のイランが、イスラエルとアメリカが何か大きな事を計画している、と訴えている事についてもお話ししました。レバノンのヒズボラが化学兵器を持っている事についてもお話ししました。ヨーロッパの問題についても、イタリアの選挙についても、北朝鮮についてもお話ししました。それから、プーチンの演説と、その結果としてヨーロッパで起こっている事についてもお話ししました。皆さん、ロシアの熊が今にも攻撃しようとしています。それは、イスラエルとアメリカの、攻撃の計画に対する報復かも知れません。それは、その前に行われるかも知れません。ただ一つ、確かなのは、私たちは、エゼキエルが書いた戦争に向かって、一日近づいている、ということです。一週間近づき、一ヶ月近づいています。これら全ての事から、皆さんを励ましたいと思います。今日、ツアーの団体と一緒に、ヘロデ通りに行って来まし

た。ここはイエスの時代から発掘された通りです。この、神殿の丘の下の通りには、石が山積みになっています。山積みになった石、これらはエルサレムの神殿崩壊時の石です。



これが石です。今日、私たちは、まさにここに立っていました。ここが一番小さい石で2.5トン、ここで大きな石は600トンです。イエスは宣言しました。

2 …ここでは、石がくずされずに、積まれたまま残ることは決してありません。」

(マタイ 24:2)

これが起こる40年近く前に、イエスはこう言われたのです。そして、それが起こりました。当時、誰も彼のいう事を信じませんでした。弟子たちの何人かは、信じたかもしれませんが。しかし、エルサレムは当時、見事で完璧な状態だったのです。何か悪いことが起こるとは、誰一人として想像も出来なかったのです。それでも、西暦70年に、ティトウス・ウェスパシアヌスが、神殿とエルサレムの町全体を破壊しました。そして、これらの巨大石の山が、この全地域を覆ったのです。つまり要点は、イエスは正しかったのです。しかし誰も、彼を信じませんでした。近い将来について、彼は完全に正しかったのです。40年後について、彼が伝えた予告が、正確で信頼でき、事実に基づいていたなら、終わりの時代、我々が生きている今の時代に関する、彼の予告も、同じくらい正確で信頼でき、事実に基づくと信じる事が出来るでしょう。人々は信じたくなかったのです。彼らは、夢の中に生きていました。彼らは、神殿は決して崩されない、誰もエルサレムに触れることは出来ない、と思っていたのです。そして、彼らが間違っていたことが証明されました。言っておきます。同じ人々、現在世界に安心安全を約束している同じ人間、世界にこういったスローガンを約束している同じ人間は、これがどこからやって来るのか、知りません。彼らは、驚かされます。彼らは、驚きますよ。しかし、私の慰めは、同じイエスが、彼の民に言われたのです。私たちのために、

2 …場所を備えに行くのです。

(ヨハネ 14:2 終盤)

2 …もしなかったら、あなたがたに言っておいたでしょう。…

(ヨハネ 14:2 中盤)

それからまた、こうも言われました。

3 わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。

(ヨハネ 14:3)

イエスは、弟子たちに言われたのです。彼はまず、彼の花嫁を迎えに来て、彼のいる所に連れて行く、と。それから言われました。彼は戻って来て、その時、彼の足はオリーブ山の上に降り立つ。その時、地震が起きて、立っているものは全て崩壊し、地に埋まっているものは全て高めら

れ、明らかになる。そして彼は、地上のエルサレムで御座を創設する、と。だから、信じる者にとっては、私たちが現在目撃し、目にしているものは、大きな希望です。主がすぐにも来られて、私たちを連れて行ってくださるのですから。主は、全て地獄の火蓋が切って落とされるのが始まる前に、私たちを迎えに来る、と約束されたのですから。そして、この世を襲う、試練の時には、イエスは「あなたがたを試練の時から守る」と言われたのであって、「試練の中で」ではありません。それから、それが「ヤコブの苦難の時」であることも、私たちは分かっています。これは全て、イスラエルです。それから、彼は私たちとともに来ます。彼の足が、オリーブ山に立つ、と聖書にはあり（ゼカリヤ 14:4~5 参照）、

5 …主が来られる。すべての聖徒たちも主とともに来る。

（ゼカリヤ 14:5b）

私たちは、彼と共に戻って来ます。そして、主とともに戻って来るためには、私たちはまず、彼と共にいるために、天に行かなくてはなりません。それから私たちは、戻って来るのです。ということで、今日、私たちから皆さんへの提案は、情勢について心配しないで、アメリカは安全かどうか、ヨーロッパは、イスラエルは安全か、等の心配をせず、皆さんは、どうかご自分が主の前に正しいかどうかを調べてください。この終わりの時代、私たち全員に必要なのは、主の前に正しく、備えをしている事、それもただ備えをするのではなく、主に使っていただくのです。この終わりの時、従事する事、全世界に福音を伝えること以上に、素晴らしいことはありません。救い主がおられる。永遠のいのちの賜物がある。あなたも救われる。敵は、世界の軍隊ではなく、あなた自身の人生の中の罪なのです。それには、解決策があります。解決策とは、自分の罪の性質を理解し、そこから悔い改め、そして主が、まずあなたの人生を支配されるように、あなたの心に招くのです。いったん、彼があなたの中で支配し、治められると、彼が戻って来られる時には、あなたも、彼と共に支配し、治めることが出来るのです。ですから、誰であれ、今これを見ている方も、後でご覧になる方もお招きします。平安を受け取る招きです。神との平安です。イエスは言われました。

27 「わたしは、あなたがたに平安を残します。わたしは、あなたがたにわたしの平安を与えます。わたしがあなたがたに与えるのは、世が与えるのとは違います。

（ヨハネ 14:27a）

わたしが与える平安は、すべての理解をはるかに超えるものだ。」

世が与えることも出来ず、理解することも出来ない平安です。皆さん、どうかそれを受け取ってください。もし、あなたが信者なら、今こそ、福音を宣べ伝える時です。もし、あなたが信者でないのなら、これはただの偶然ではありません。あなたが今、これを聴いているのは、もしかしたら、あなたが救われるためかも知れません。それとただ、これからこの世に訪れる苦難や、とんでもない破滅からだけでなく、それ以上に、あなた自身の罪からの救いです。あなたの心を引き止めている、全てのものからの救い、ここから取り去られ、天地の創造主とともにいる事にな

るのです。私たちを、何でもない土から創られた方が、私たちと交わり、彼と共におらせたい、と願っておられるのです。彼は、御父のもとに行くために、天に戻られました。しかし、もう一度、彼はそこから私たちと空中で会うために、出て来られます。そうして私たちは、彼と共に永遠に一緒だ、と第一テサロニケ4章にあります。ですから、どうか皆さん、恐れなくてワクワクしましょう。そして、物事を先延ばしにしないでください。それは、今、この瞬間にも起こり得ます。私がいちも、「今、この瞬間にも。」と言っているのは、皆さんご存知ですが、その通り、確かに今、この瞬間にもあり得ます。携挙は、そこまで迫っています。今は、確かに、終わりの時です。

ご視聴いただき、ありがとうございました。いつも言いますが、どうか皆さん、無料アプリをダウンロードしてください。Instagramで、私が撮った素晴らしい写真をご覧ください。

「BeholdIsrael」一語です。YouTubeチャンネルは、スペイン語、中国語、日本語がございます。これらの言語のBehold Israelチャンネルがあることを、人々に知らせてください。お聞きくださりありがとうございました。まもなく、2019年のツアー日程を発表します。もし、まだここにいるなら、ぜひツアーに参加してください。私はガイドはしませんが、ユダヤ人のクリスチャンがご案内いたします。私は、現地で聖書を教えます。ほぼ毎日、異なる場所で、バイブルスタディをします。それから皆さん、YouTubeチャンネルをご登録ください。もうすぐ、登録者が75,000人、今月末には80,000人に達するでしょう。

ありがとうございます。God bless you! 最後に、アロンの祝福でこの配信を終わりたいと思います。

	ヴェイシエメレハー		アドナイ		イェヴァーレフハー	
	וַיִּשְׁמְרֶךָ		יְהוָה		יְבָרְכֶךָ	
	..(主が)あなたを守られますように		主が		あなたを祝福し	
ヴィーフネッカー	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	ヤーエール		
וַיְהַנֶּכֶךָ	אֶלְיָךָ	פָּנֶיךָ	יְהוָה	יֵאָר		
..(主が)あなたを恵まれますように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	照らし		
シャーローム	レハー	ヴェヤーセーム	エーレーハー	パーナーヴ	アドナイ	イッサー
שָׁלוֹם	לְךָ	וַיִּשֶׂם	אֶלְיָךָ	פָּנֶיךָ	יְהוָה	יִשָּׂא
平安を	あなたに	(主が)賜るように	あなたに(向けて)	御顔を	主が	上げて

(引用：牧師の書齋 <http://meigata-bokushin.secret.jp/>)

- 24 主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
 25 主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
 26 主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記 6:24~26)

ありがとうございます！エルサレムより、シャローム！さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>